平成25年12月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年5月10日

上 場 会 社 名　片倉工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3001　　ＵＲＬ　http://www.katakura.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）竹内　彰雄
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役経理部長　（氏名）佐野　公哉　　（TEL）　03(6832)0229

四半期報告書提出予定日　　平成25年５月15日　　配当支払開始予定日―
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第１四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年３月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第１四半期	14,365	0.2	666	13.4	760	26.2	642	53.7
24年12月期第１四半期	14,339	4.9	587	6.1	603	△2.9	418	379.4

（注）包括利益　25年12月期第１四半期　4,271百万円（196.1%）　24年12月期第１四半期　1,442百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第１四半期	18.29	―
24年12月期第１四半期	11.90	―

(2) 連結財政状態

	総　資　産	純　資　産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第１四半期	122,872	70,376	39.9
24年12月期	116,276	66,456	39.4

（参考）自己資本　　25年12月期第１四半期　48,966百万円　24年12月期　45,793百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期　末	合　計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	―	―	10.00	10.00
25年12月期	―				
25年12月期(予想)		―	―	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売　上　高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	26,000	2.1	600	△59.0	900	△46.6	500	△28.5	14.22
通　　期	49,000	3.8	1,900	3.4	2,400	3.5	800	14.1	22.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：有
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：有
④ 修正再表示　：無
(注)詳細は、添付資料P.４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期１Ｑ	35,215,000株	24年12月期	35,215,000株
② 期末自己株式数	25年12月期１Ｑ	61,695株	24年12月期	61,665株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期１Ｑ	35,153,320株	24年12月期１Ｑ	35,153,639株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」P.４「１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....２
(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....２
(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....３
(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....４
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項.....４
(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....４
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....４
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....４
３．四半期連結財務諸表.....５
(1)　四半期連結貸借対照表.....５
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....７
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間.....７
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間.....８
(3)　継続企業の前提に関する注記.....９
(4)　セグメント情報等.....９
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....10
(6)　重要な後発事象.....10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待感や日銀の一層の金融緩和により、円高の修正や株高の進行等、景気回復への明るい兆しが見られたものの、実体経済の改善には至らず、また欧州債務危機の再燃等もあり依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、2012年度から2016年度の５カ年を計画期間とする中期経営計画「カタクラ2016」の初年度の検証を踏まえた課題に取り組み、既存事業をより一層強化するとともに新たな事業の創出に努めております。

繊維・医薬品・機械関連等の製造事業におきましては、付加価値の高い製品提供、より一層の原価低減、独自性のある製品の開発強化を図ってまいりました。また、ショッピングセンター等の不動産事業におきましては、施設鮮度の維持、効率的な費用支出を行うとともに、お客様のニーズを適切に反映した事業運営に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、機械関連事業において、前年同四半期に消防自動車の出荷が集中したことから減収となったものの、繊維事業において、一部の連結子会社の決算期変更の影響等により143億65百万円（前年同四半期比0.2%増）となりました。

営業利益は、医薬品事業の粗利率の上昇等により６億66百万円（前年同四半期比13.4%増）となり、経常利益は、７億60百万円（前年同四半期比26.2%増）となりました。

四半期純利益は、６億42百万円（前年同四半期比53.7%増）となりました。なお、前年同四半期に比べ四半期純利益が増加したのは、前年同四半期に退職給付制度終了損等の特別損失を計上していたことによるものであります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①　繊維事業

肌着・靴下等の衣料品は、肌着で大手量販店への販売が減少したものの、カジュアルインナーは連結子会社の決算期変更の影響等により増収となりました。また、機能性繊維も連結子会社の決算期変更の影響等により増収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は28億57百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

営業利益は、粗利率の悪化等により76百万円（前年同四半期比41.4%減）となりました。

②　医薬品事業

医薬品事業は、不整脈治療剤「アミオダロン塩酸塩速崩錠」及び心不全治療薬「ピモベンダン錠」が順調に伸長したこと等により増収となりました。

この結果、医薬品事業の売上高は38億62百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

営業損益は、粗利率が上昇したものの、販売費及び一般管理費を吸収できず60百万円の損失（前年同四半期は１億73百万円の損失）となりました。

③　機械関連事業

消防関連機器は、前年同四半期は復興需要により、消防自動車の出荷が集中したことから減収となりました。

この結果、機械関連事業の売上高は52億37百万円（前年同四半期比5.3％減）となりました。

営業利益は、固定費の削減等により５億１百万円（前年同四半期比0.4％増）となりました。

④　不動産事業

不動産事業は、大宮ゴルフセンター（埼玉県さいたま市）を前年12月に営業休止したこと等により減収となりました。なお、旧本社ビルの再開発事業「東京スクエアガーデン（東京都中央区）」は、３月27日に竣工致しました。

この結果、不動産事業の売上高は16億11百万円（前年同四半期比2.9％減）となりました。

営業利益は、施設管理費等のコスト削減により５億32百万円（前年同四半期比0.1％増）となりました。

⑤　その他

その他の区分は、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等の事業により構成されております。

その他の売上高は７億97百万円（前年同四半期比8.1％減）となり、営業損益は28百万円の損失（前年同四半期は30百万円の損失）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は1,228億72百万円（前連結会計年度末比65億95百万円増、同比5.7％増）となりました。

これは、前連結会計年度末に比べて投資有価証券の時価が上昇したことが主因であります。

（資産の部）

流動資産は、531億79百万円（前連結会計年度末比９億56百万円減、同比1.8％減）となりました。増減の主要な項目は、受取手形及び売掛金、仕掛品であり、受取手形及び売掛金が10億64百万円増加し、仕掛品は22億56百万円減少しました。

固定資産は、696億93百万円（前連結会計年度末比75億52百万円増、同比12.2％増）となりました。増減の主要な項目は、建物及び構築物、有形固定資産のその他、投資有価証券であり、建物及び構築物が34億53百万円増加し、有形固定資産のその他が22億10百万円減少し、投資有価証券が53億81百万円増加しました。

（負債の部）

流動負債は、231億57百万円（前連結会計年度末比３億75百万円減、同比1.6％減）となりました。増減の主要な項目は、支払手形及び買掛金、短期借入金であり、それぞれ５億89百万円、６億22百万円減少しました。

固定負債は、293億38百万円（前連結会計年度末比30億51百万円増、同比11.6％増）となりました。増減の主要な項目は、長期借入金、繰延税金負債であり、それぞれ10億34百万円、18億24百万円増加しました。

（純資産の部）

純資産は、703億76百万円（前連結会計年度末比39億19百万円増、同比5.9％増）となりました。また、自己資本比率は39.9％となりました。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、平成25年２月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当第１四半期連結会計期間において、松本社有地の全体開発に関して社有地の一部を土地賃貸することを決定いたしました。これにより、開発の進行に伴い利用不能となる資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ７百万円減少しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社については、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,669	28,872
受取手形及び売掛金	13,709	14,774
有価証券	492	292
商品及び製品	3,581	3,472
仕掛品	2,750	493
原材料及び貯蔵品	1,838	1,803
その他	3,096	3,473
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	54,135	53,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,456	20,909
土地	16,808	16,808
その他（純額）	4,305	2,094
有形固定資産合計	38,569	39,812
無形固定資産	1,746	1,681
投資その他の資産		
投資有価証券	19,152	24,534
その他	2,765	3,757
貸倒引当金	△93	△92
投資その他の資産合計	21,825	28,198
固定資産合計	62,141	69,693
資産合計	116,276	122,872

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,262	7,673
短期借入金	5,332	4,709
1年内返済予定の長期借入金	716	971
未払法人税等	235	319
賞与引当金	402	834
役員賞与引当金	35	22
資産除去債務	12	27
その他	8,534	8,598
流動負債合計	23,532	23,157
固定負債		
長期借入金	5,445	6,479
繰延税金負債	6,700	8,524
退職給付引当金	2,431	2,365
役員退職慰労引当金	272	271
土壌汚染処理損失引当金	92	87
長期預り敷金保証金	8,370	8,702
資産除去債務	542	542
負ののれん	21	13
その他	2,410	2,351
固定負債合計	26,286	29,338
負債合計	49,819	52,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,817	1,817
資本剰余金	332	332
利益剰余金	35,395	35,686
自己株式	△82	△82
株主資本合計	37,463	37,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,303	11,185
繰延ヘッジ損益	27	26
その他の包括利益累計額合計	8,330	11,212
少数株主持分	20,663	21,409
純資産合計	66,456	70,376
負債純資産合計	116,276	122,872

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
売上高	14,339	14,365
売上原価	9,750	9,609
売上総利益	4,589	4,756
販売費及び一般管理費	4,002	4,090
営業利益	587	666
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	20	29
受取和解金	－	49
雑収入	75	63
営業外収益合計	107	156
営業外費用		
支払利息	57	53
シンジケートローン手数料	20	2
雑損失	14	5
営業外費用合計	92	61
経常利益	603	760
特別利益		
固定資産売却益	0	－
投資有価証券売却益	10	－
特別利益合計	10	－
特別損失		
固定資産処分損	12	46
減損損失	18	21
退職給付制度終了損	270	－
その他	50	1
特別損失合計	351	69
税金等調整前四半期純利益	261	691
法人税、住民税及び事業税	83	238
法人税等調整額	△197	△233
法人税等合計	△113	4
少数株主損益調整前四半期純利益	375	686
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△43	43
四半期純利益	418	642

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	375	686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,043	3,568
繰延ヘッジ損益	13	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	9	16
その他の包括利益合計	1,067	3,584
四半期包括利益	1,442	4,271
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,318	3,524
少数株主に係る四半期包括利益	124	746

(3)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)　セグメント情報等

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高								
外部顧客への売上高	2,475	3,810	5,528	1,658	867	14,339	－	14,339
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	－	7	55	62	△62	－
計	2,475	3,810	5,528	1,665	922	14,402	△62	14,339
セグメント利益又は損失（△）	129	△173	499	532	△30	957	△369	587

（注）１．その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△369百万円には、セグメント間の取引消去△３百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△366百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	繊維	医薬品	機械関連	不動産	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
売上高								
外部顧客への売上高	2,857	3,862	5,237	1,611	797	14,365	－	14,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	－	0	6	60	67	△67	－
計	2,858	3,862	5,237	1,617	857	14,433	△67	14,365
セグメント利益又は損失（△）	76	△60	501	532	△28	1,021	△355	666

（注）１．その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホームセンター、ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額△355百万円には、セグメント間の取引消去△４百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△351百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、連結子会社のうち決算日が９月30日であった㈱ニチビ、決算日が11月30日であったオグランジャパン㈱については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりました。

当該子会社が決算日を12月31日に変更したことに伴い、当第１四半期連結会計期間は、㈱ニチビが平成24年10月１日から平成25年３月31日までの６カ月間、オグランジャパン㈱が平成24年12月１日から平成25年３月31日までの４カ月間を連結しております。

この決算期変更に伴い、当第１四半期連結累計期間の「繊維事業」の売上高が651百万円、セグメント利益が21百万円それぞれ増加しております。

（有形固定資産の耐用年数の変更）

会計上の見積りの変更に記載のとおり、松本社有地の全体開発に関して社有地の一部を土地賃貸することを決定いたしました。これにより、開発の進行に伴い利用不能となる資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第１四半期連結累計期間の「不動産事業」のセグメント利益が６百万円減少し、「その他」の区分のセグメント損失が０百万円増加しております。

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴うセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6)　重要な後発事象

該当事項はありません。